

南海トラフの地震活動の長期評価 の見直しに関する途中経過報告

2025年2月12日
地震調査委員会事務局

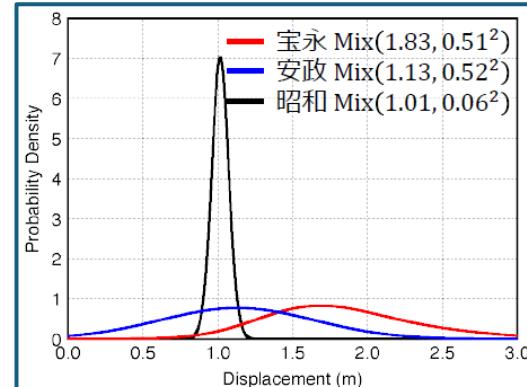
✓は審議終了、□は審議中

主な審議内容

○室津港の隆起量データ (長期評価部会・海溝型分科会)

- ✓ 宝永地震だけでなく、安政地震、昭和南海地震の際の室津港の隆起量データについて、データの特徴について議論
- ✓ 各史料の特徴を踏まえ、隆起量データの確率分布について議論 (データの不確実性と誤差の考え方の整理)
- ✓ パラメータ γ の議論 (事前分布の影響)
- パラメータ β の議論 (事前分布の設計)

長275海Ⅱ 96長手Ⅱ 7参考資料5-1より



- ・不確実性は正規分布 ($\epsilon = 1$)
- ・万変記に久保野家と同じ誤差
- ・土佐國に手鏡と同じ誤差

○隆起量データの誤差を考慮した時間予測モデルとBPTを融合したベイズ的計算方法

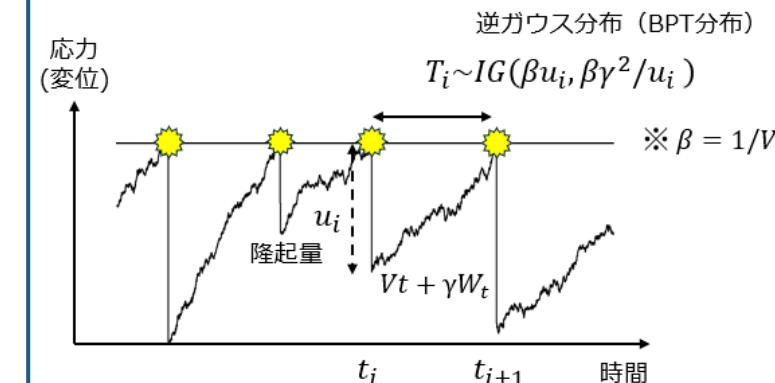
(長期確率評価手法検討分科会)

- ✓ すべり量依存BPTモデル (SSD-BPTモデル) とベイズ推定に基づいた新たな確率計算手法の提案
- ✓ パラメータ γ の議論 (事前分布の設計) $(\gamma \cdots \text{ばらつき})$
- パラメータ β の議論 (事前分布の影響) $(\beta \cdots \text{隆起速度Vの逆数})$

○報告書

- 「南海トラフの地震活動の長期評価 (第二版)」の一部改訂
第三版ではなく、一部改訂としてまとめる
すべり量依存BPTモデルとBPTモデルについて、主文に両論併記する方向で議論中
- 「長期的な地震発生確率の評価手法について」の追補
すべり量依存BPTモデルとモンテカルロ法について、追補 (別紙) としてまとめる

すべり量依存BPTモデル (SSD-BPTモデル)



これまでの部会・分科会における開催状況とその審議内容

開催日	開催した部会・分科会	主な審議内容（太字は審議終了）
2024/7/30	長期評価部会（第271回）	<ul style="list-style-type: none">長期評価の見直しの方向性長期確率評価手法検討分科会（第二期）設置の承認
2024/9/2	長期評価部会（第272回） 海溝型分科会（第二期）（第93回）	<ul style="list-style-type: none">室津港の隆起量データに関する審議
2024/9/9	長期確率評価手法検討分科会（第二期）（第1回）	<ul style="list-style-type: none">設置背景の説明今後のスケジュールの確認
2024/9/26	長期確率評価手法検討分科会（第二期）（第2回）	<ul style="list-style-type: none">不確実性を考慮した評価手法の審議
2024/10/11	長期評価部会（第273回） 海溝型分科会（第二期）（第94回） 長期確率評価手法検討分科会（第二期）（第3回）	<ul style="list-style-type: none">すべり量依存BPTモデル（SSD-BPTモデル）の紹介室津港の隆起量データに関する審議
2024/11/20	長期確率評価手法検討分科会（第二期）（第4回）	<ul style="list-style-type: none">すべり量依存BPTモデルに使用する事前分布の設計の審議確率手法報告書の改訂方針の審議
2024/12/16	長期評価部会（第274回） 海溝型分科会（第二期）（第95回） 長期確率評価手法検討分科会（第二期）（第5回）	<ul style="list-style-type: none">すべり量依存BPTモデルに使用する事前分布の設計の審議（報告）室津港の隆起量データの確率分布の審議南海トラフ評価文及び確率手法報告書の改訂方針の審議
2025/1/24	長期確率評価手法検討分科会（第二期）（第6回）	<ul style="list-style-type: none">すべり量依存BPTモデルに使用するパラメータγの審議
2025/2/5	長期評価部会（第275回） 海溝型分科会（第二期）（第96回） 長期確率評価手法検討分科会（第二期）（第7回）	<ul style="list-style-type: none">すべり量依存BPTモデルに使用するパラメータγの審議（報告）室津港の隆起量データの確率分布の審議すべり量依存BPTモデルに使用するパラメータβの審議南海トラフ評価文及び確率手法報告書の方針の審議